



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 岡山県貨物運送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9063 URL https://www.okaken.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 原田 和充
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 馬屋原 章 TEL 086-252-2111
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	9,621	3.3	260	46.8	320	35.0	277	82.9
2021年3月期第1四半期	9,316	△12.5	177	△66.0	237	△58.3	151	△60.2

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 198百万円 (0.1%) 2021年3月期第1四半期 198百万円 (△34.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	136.77	—
2021年3月期第1四半期	74.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	42,191	18,145	42.9	8,936.76
2021年3月期	42,180	18,091	42.8	8,909.25

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 18,117百万円 2021年3月期 18,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,300	1.4	510	58.8	600	40.3	420	54.2	207.16
通期	39,700	0.5	1,560	17.9	1,740	12.1	1,220	11.0	601.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	2,200,000株	2021年3月期	2,200,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	172,667株	2021年3月期	172,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	2,027,333株	2021年3月期1Q	2,027,477株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策として緊急事態宣言が一時10都道府県で発出されるなど感染拡大の動向は予断を許さず、国内景気は総じて厳しい状況が続きました。

運輸業界におきましても、輸送需要に持ち直しの動きが見られるものの、半導体不足により一部業種で回復の遅れがあることや、燃油価格の高騰が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは感染防止に注力しつつ、積極的な営業展開を進めるとともに、人員・車両配置の適正化、外注費の削減等による輸送の効率化を進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は9億6千211百万円(前年同四半期比3.3%増)となり、営業利益は2億6千万円(前年同四半期比46.8%増)、経常利益は3億2千万円(前年同四半期比35.0%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億7千7百万円(前年同四半期比82.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 貨物運送関連

貨物運送関連につきましては、貨物取扱量がやや回復したことや、適正運賃収受の継続的な取り組みを行ったことなどにより、営業収益は9億2千344百万円(前年同四半期比3.2%増)、営業利益は2億2千4百万円(前年同四半期比56.2%増)となりました。

② 石油製品販売

石油製品販売につきましては、商品販売価格の上昇等により、営業収益は2億1千6百万円(前年同四半期比31.8%増)となり、営業損失は2百万円(前年同四半期は4百万円の営業損失)となりました。

③ その他

その他につきましては、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおり、営業収益は1億6千9百万円(前年同四半期比15.1%減)となり、営業利益は3千2百万円(前年同四半期比0.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は4億2千1億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千万円の増加となりました。これは、受取手形及び営業未収入金の減少等により流動資産が2億9千4百万円減少し、建物及び構築物(純額)の増加及び建設仮勘定の減少等により固定資産が3億4百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、2億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千4百万円の減少となりました。これは、設備代未払金の増加等により流動負債が6億2千7百万円増加し、長期借入金の減少等により固定負債が6億7千1百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、1億8千1億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ5千4百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は2022年3月期を通じて継続するものと仮定しており、輸送需要は全般に回復傾向にありつつも先行き不透明な状況が続くものと予測しております。

業績予想につきましては、現時点では2021年5月7日公表時からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,401,765	6,450,671
受取手形及び営業未収入金	6,564,252	6,192,235
棚卸資産	114,950	142,317
その他	351,874	353,273
貸倒引当金	△2,633	△2,551
流動資産合計	13,430,210	13,135,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,763,056	7,747,818
車両運搬具(純額)	1,434,551	1,532,734
土地	15,336,005	15,320,456
その他(純額)	1,076,179	326,046
有形固定資産合計	24,609,793	24,927,055
無形固定資産	589,577	585,985
投資その他の資産		
投資有価証券	3,019,891	2,897,901
その他	547,189	660,183
貸倒引当金	△15,674	△16,024
投資その他の資産合計	3,551,406	3,542,060
固定資産合計	28,750,777	29,055,102
資産合計	42,180,988	42,191,049
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,804,146	2,753,629
短期借入金	6,009,994	6,230,162
未払法人税等	470,272	216,007
賞与引当金	261,820	6,210
その他	2,459,797	3,427,691
流動負債合計	12,006,031	12,633,701
固定負債		
長期借入金	8,203,253	7,614,237
役員退職慰労引当金	122,244	83,159
退職給付に係る負債	3,397,087	3,378,859
資産除去債務	107,830	108,220
その他	253,356	227,374
固定負債合計	12,083,771	11,411,851
負債合計	24,089,802	24,045,552

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,420,600	2,420,600
資本剰余金	1,770,388	1,770,388
利益剰余金	13,591,473	13,726,853
自己株式	△294,219	△294,219
株主資本合計	17,488,242	17,623,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541,527	458,413
退職給付に係る調整累計額	32,266	35,771
その他の包括利益累計額合計	573,794	494,185
非支配株主持分	29,149	27,689
純資産合計	18,091,186	18,145,497
負債純資産合計	42,180,988	42,191,049

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業収益	9,316,899	9,621,292
営業原価	8,727,702	8,855,258
営業総利益	589,197	766,034
販売費及び一般管理費	411,682	505,513
営業利益	177,514	260,520
営業外収益		
受取利息	10	2
受取配当金	19,425	19,976
受取賃貸料	43,628	41,698
持分法による投資利益	16,438	20,618
その他	21,848	19,125
営業外収益合計	101,350	101,420
営業外費用		
支払利息	40,272	36,589
その他	943	4,529
営業外費用合計	41,216	41,118
経常利益	237,648	320,822
特別利益		
固定資産売却益	5,967	90,592
特別利益合計	5,967	90,592
特別損失		
固定資産売却損	277	93
特別損失合計	277	93
税金等調整前四半期純利益	243,338	411,321
法人税、住民税及び事業税	168,699	209,049
法人税等調整額	△77,686	△75,874
法人税等合計	91,012	133,175
四半期純利益	152,325	278,146
非支配株主に帰属する四半期純利益	701	852
親会社株主に帰属する四半期純利益	151,624	277,293

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	152,325	278,146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,716	△83,114
退職給付に係る調整額	△20,757	3,504
その他の包括利益合計	45,959	△79,609
四半期包括利益	198,284	198,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,583	197,684
非支配株主に係る四半期包括利益	701	852

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、貨物運送収入は、従来、当社グループの各事業所において荷主より貨物運送を受託し発送した日を基準として収益を計上しておりましたが、一定の期間に渡り収益を認識する処理に変更いたしました。また、一部の取引について、従来は、顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、顧客から受け取る額から第三者のために回収する金額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の影響や収束時期等を正確に予測することは困難であります。

当社グループにおいては、感染症の影響が2022年3月期を通じて継続するものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断や減損損失等の会計上の見積りを行っております。

新型コロナウイルス感染症による影響は不確定要素が多く、感染症の影響が変化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。なお、この仮定については前連結会計年度末から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物運送 関連	石油製品 販売	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	8,952,250	164,381	9,116,631	200,267	9,316,899	—	9,316,899
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	6,953	402,249	409,203	288,006	697,210	△697,210	—
計	8,959,204	566,630	9,525,834	488,274	10,014,109	△697,210	9,316,899
セグメント利益 又は損失(△)	143,917	△4,345	139,571	32,397	171,968	5,545	177,514

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額5,545千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物運送 関連	石油製品 販売	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	9,234,647	216,709	9,451,357	169,935	9,621,292	—	9,621,292
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	6,506	561,601	568,108	287,686	855,795	△855,795	—
計	9,241,154	778,311	10,019,465	457,622	10,477,088	△855,795	9,621,292
セグメント利益 又は損失(△)	224,798	△2,173	222,624	32,328	254,952	5,567	260,520

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額5,567千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。